

保護者 様

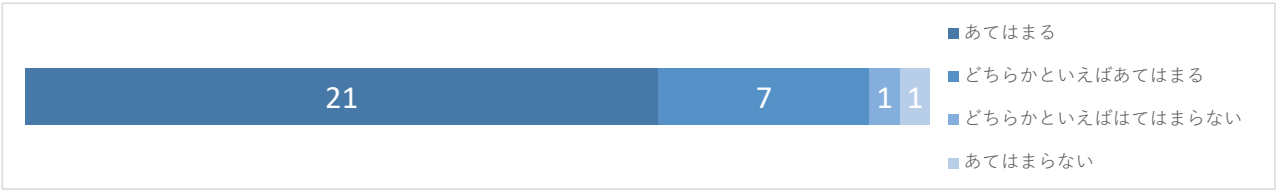
野田市立関宿中学校
校長 武田 光弘

令和6年度 後期 学校評価アンケートについて（報告）
立春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
後期の学校評価アンケートのご協力をいただき、ありがとうございました。
下記のとおりご報告いたします。

記

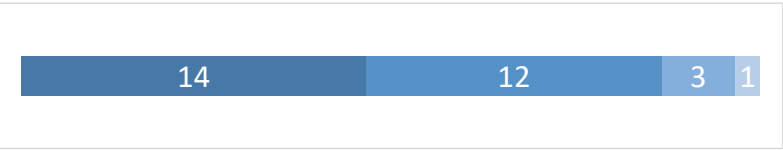
【保護者アンケート】 30人回答(51世帯 回答率59%)

Q1 お子様を関宿中に通わせて良かった (93%前期より7%減)

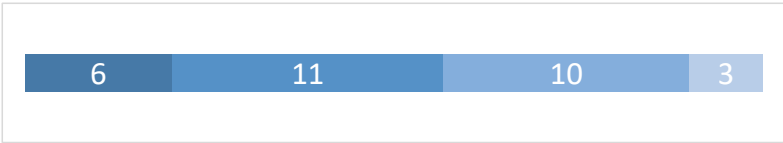


(87% 前期と同様)

Q2 お子様は授業の内容をよく理解している。

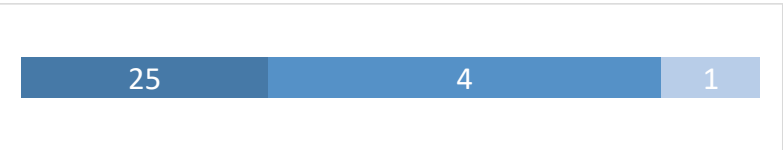


Q4 お子様はタブレット等のICT機器を活用して学習に取り組んでいる。 (57% 前期より12%減)

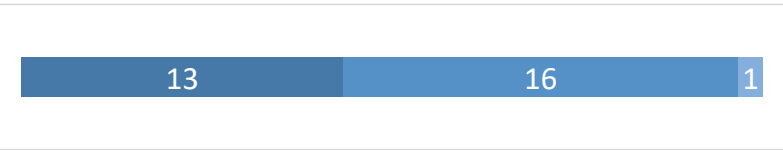


Q6 お子様は部活動に積極的に取り組んでいる。

(前期同様
96%高評価)

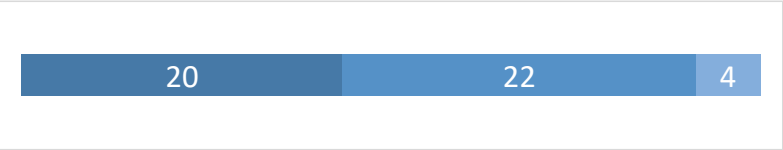


Q8 お子様は、自分自身や友達の良さを認め、生活することができている。 (前期同様96%高評価)

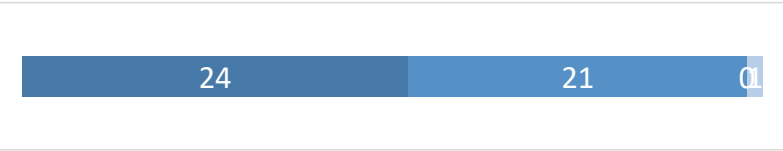


【生徒アンケート】 46人回答 (在籍55名)

Q1 学校は楽しい (前期同様96%高評価)



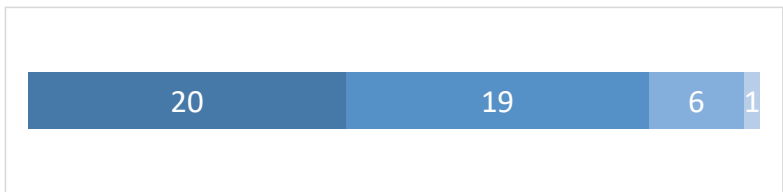
Q3 私は、授業に積極的に取り組んでいる。 (前期比16%増97%)



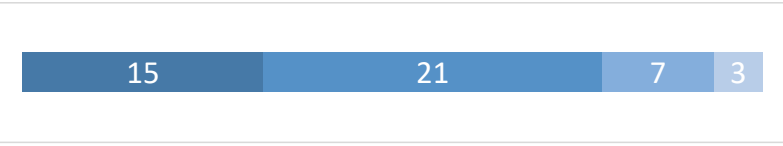
Q5 私は、体育をはじめとする運動に積極的に取り組んでいる。



Q7 私は、自ら進んであいさつをしている。 (85%前期同様)

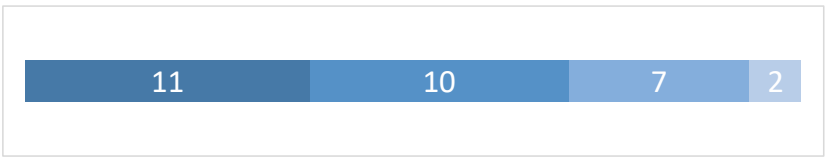


Q9 私は、学級や学校、地域（社会）の一員としての自覚をもち、みんなの役に立てるように心がけて生活することができている。



(前期比3%低下)

Q3 お子様は家庭学習に計画的、積極的に取り組んでいる。



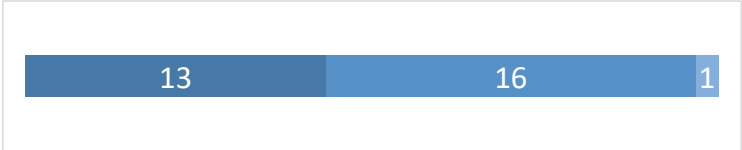
(70% 前期と同様)

Q5 お子様は体育をはじめとする運動に積極的に取り組んでいる。 (83% 前期より5%減)



Q7 お子様は自ら進んであいさつをしている。

(前期同様96%高評価)



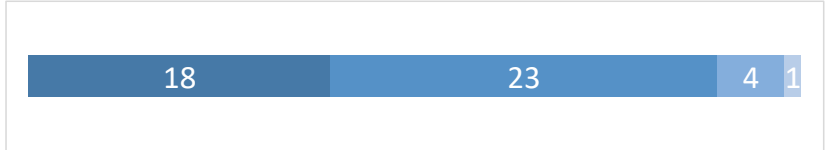
Q9 お子様は、学級や学校、地域（社会）の一員としての自覚をもち、みんなの役に立てるように心がけて生活することができている。



(前期より増
96%高評価)

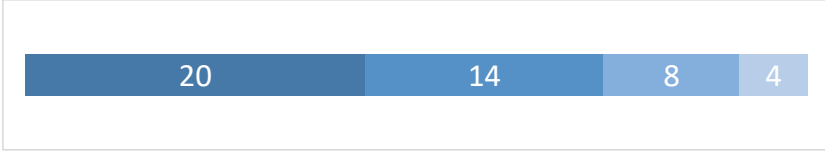
Q2 私は、授業の内容がよくわかるようになってきている。

(89%前期同様)



Q4 私は家庭学習に計画的、積極的に取り組んでいる。

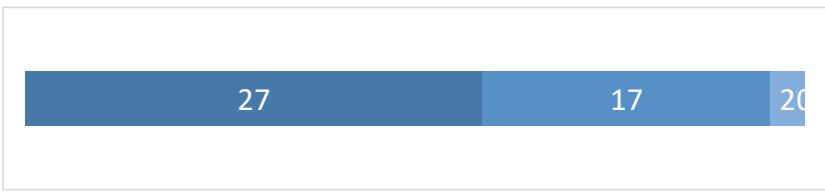
(74%前期同様)



Q6 私は、部活動に積極的に取り組んでいる。 (93%高評価維持)



Q8 私は、自分自身や友達の良さを認め、生活することができている。



(95%
高評価維持)

Q10 いただいたご意見・ご提案

- ・コート着用時、教室までの着用を可能にしたい。
→一般的にコートは建物に入る際に着脱するものと解釈し、指導しております。解錠前に教室は暖房を入れております。
- ・部活動終わりの下校はジャージ下校を可能にしたい。
→夏季の猛暑期に実施期間を設けます。
- ・少人数の学校なので先生方が1人ひとりに寄り添って細やかに指導してくださってとても良い環境で学習できています。
少人数なので個人が活躍する場がたくさんあって発言や自主的に行動することができて、これからの将来に役立つときがたくさんあると思います。いつもありがとうございます。
→かえって負担が過多にならないように注意しつつ、指導に当たります。
- ・先生方におかれましては、子どもたちに親身に対応していただきありがとうございます！心ある言葉と態度で接していただけたら、嬉しいです。先生方（親も含め）の一言一言で子どもたちはよくも悪くもなると思います。
→やる気を引き出す言葉かけ（ペップトーク）を重視しており、職員研修を行い、生徒向けにも講演会を行いました。

【後期の取り組みについて】

学 習 面	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学習の推進が図れるように、授業においては、毎時間、目的・課題を明確にして取り組んでいるところです。対話を通しての課題解決やICT機器を活用した調べ学習、意見の共有、発表等、主体的に学習に取り組む姿が見られます。クロームブックの活用は調べる作業分析や意見交換・改善策の確認、プレゼンテーション資料作りに役立てられています。行事の報告書作り、各種アンケートや、教科の課題提出・評価にも使われています。 ・2年生は職場体験実習を、1年生は職業講話を実施しました。キャリア教育が生徒個々の進路開拓に良い影響を与えています。 ・引き続き、Eライブラリは学年を超えて各単元の復習に使えますので、家庭学習の一助にお薦めします。 学校では今後も各授業の振り返りを、時間毎もしくは単元毎に行うことで、学習内容の理解・定着を図って参ります。 ・総合の時間では今年もSDG sの学習に取り組み、学んだことの報告会ができました。 各自が気づき、考えを深め、次はより良い行動がとれるように指導・支援を継続していきます。
生 活 面	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も教育相談を丁寧に行って参ります。これまでも、担任や職員、スクールカウンセラーがつながりを持ち、個々に助言や情報交換をしています。 ・部活動においては、新チームでも好きなことに打ち込んで、大会やコンクールで本領を発揮し、良い表情で活動できている生徒が多い状況です。感染症で活動が停止することもなく活動することができました。 ・「あいさつ」については、後期も生徒会と生活委員が先頭に立って、活性化に努めました。あいさつを交わすことは、お互いを思いやる気持ちを育むことにつながると考えています。あいさつや返事がしっかりと行えることの大切さは、小中学校共通で育てたい基本的生活習慣です。 ・ペップトーク講演会を実施しました。WBC決勝の際、大谷選手が「今日だけは憧れるのをやめましょう」「全力で戦って優勝するぞ」「さあ、行こう！」というチームを鼓舞する話をしました。これを例に、人のやる気を引き出し、相手の心情を受容し、本領発揮につなげる前向きな言葉かけを日頃から実践しようというお話でした。言葉の選び方で、人は持つ力を発揮できたり、その逆につながることもあると学びました。教職員も小中合同でこの研修を実施しており、生徒が意欲を持って生活し、自己有用感や相手を尊重する気持ちを育むことを目指しています。帰りの会では遠慮なく意見や課題が言えること、それを真摯に受け止めて共に改善策を考えること、この関係性と個々の成長を大切にしています。全国学力学習状況調査でも、「主体性に話し合って、物事を決めている」という設問の回答が、全国や県の平均を上回る結果でした。今後も自治的な生活集団・学習集団づくり、一人ひとりの学校生活の充実を図ります。
連 絡 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒数は今後3から4年間、55人程度の水準になる見込みです。部活動も部員がいる限り、合同チームによる運営を模索して行きます。 ・諸物価の高騰により、スキー林間学校や修学旅行の経費が上がっています。卒業対策費に残せる額が減っており、今年度卒業アルバムの形式を変えました。従来の冊子形式からDVDと少ないページ数の冊子セット形式になります。価格は下がります。DVDに収まる写真も従来の冊子形式より枚数を増やしています。 ・学校評価へのご協力ありがとうございました。前期で70%、後期は60%の保護者回答率でした。前後期比較、経年比較でも大きな変化はありませんでした。次年度は実施回数や実施時期を見直す検討をします。